

資料13 要求水準書との整合性の確認結果報告書（チェックリスト）【記入例】

【評価凡例】 ○：整合 ●：正当な理由のある変更 ×：不整合 ー：対象外（チェック段階の業務の範囲外）

項目等	確認事項	基本設計時の セルフモニタリング結果			実施設計時の セルフモニタリング結果			施工時の セルフモニタリング結果		
		対応	参照先	評価	対応	参照先	評価	対応	参照先	評価
：										
：										
：										
第2 設計関連業務										
第1節 設計関連業務における基本的な考え方										
1. 建築計画の考え方										
(2) 配置計画										
1) 校門（正門・通用門）										
	ア 正門は、歩行者及び車両がアクセスしやすい敷地西側に配置すること。	正門は、敷地西側に配置	配置図（図面番号及びページ数等を表記）	○	基本設計のとおり正門は、敷地西側に配置	配置図（図面番号及びページ数等を表記）	○	実施設計図のとおり施工済みであることを工事監理者にて確認	施工図（図面番号及びページ数等を表記）	○
：										
：										
：										
第2節 設計関連業務対象施設										
(1) 校舎棟										
(2) 教室										
②特別支援教室										
	ア 教室4室をまとめて配置すること。	町の指示により諸室配置を提案時より変更し、特別教室を2フロアにまとめて配置	配置図（図面番号及びページ数等を表記）	●	基本設計のとおり諸室を配置	配置図（図面番号及びページ数等を表記）	●	実施設計図のとおり施工済みであることを工事監理者にて確認	施工図（図面番号及びページ数等を表記）	●
：										
：										
：										
第3 施工関連業務及び工事監理関連業務										
第3節 業務の内容										
4. 着工前業務										
(2) 近隣調査・準備調査等										
	ウ 近隣住民や教職員等への説明等を実施し、工事工程等についての理解を得ること。			－			－	着工前に工事の内容とあわせて近隣住民や教職員等へ説明会を実施	説明会の実施記録、議事録	○
：										
：										
：										

* 1 要求水準書の全ての内容を確認事項としてリスト化すること。上記は記載例のため、限られた項目のみを抽出している。

* 2 要求水準書本編だけでなく、添付資料（例：「資料10 必要諸室リスト及び電気機械要求性能表」に示す必要諸室や設備内容等）の内容も可能な限りリスト化すること。

* 3 「項目等」、「確認事項」及び各業務段階の「対応」、「参照先」、「評価」の列は必須とするが、より良いセルフモニタリングの為に列を追加する提案を妨げない。

* 4 設計業務、施工・工事監理業務の全ての業務段階に渡る項目（事業全体に係る項目）は、全ての業務段階でのチェックを行うこと。